



若手イニシアティブ主催

ワイン&チーズ セミナーシリーズ(5月-7月)

演題: 科学の世界での道探し—私の冒険物語

演者: 伊藤正男

(理化学研究所 脳科学総合研究センター 特別顧問)

日時: 2008年7月17日(木) 18:45 - 20:00

(講演終了後、飲み物等を用意してミキサーを行います)

会場: 筑波大学 総合研究棟D 116室

(当日D棟前の駐車場ゲートを開放します)

科学者人生の様相は年毎に変化する。一般的にいうと、20歳台の急速な成長に30歳台の創造的に富んだ黄金期が続く。20-30歳台の初期の経験を基にその後の生産的な時代が築かれる。初期の経験のなかで特に大事なものは、同じ時代精神を分け合う先生や同僚からの影響である。ここでは私自身のそのような経験について、特に佐藤昌康、ジョン・エックルス、デビッド・マーの3氏と分け合った経験について話したい。

略歴: 伊藤正男は小脳研究における世界的な権威である。1953年東京大学医学部を卒業。熊本大学医学部助手、東京大学医学部助手、助教授を経て、1970年に東京大学医学部教授。1996年に文化勲章、日本国際賞を受賞。1997年に理化学研究所脳科学総合研究センター所長、現在は特別顧問。

本講演は若手イニシアティブが主催する「科学における日本と世界のつながり」をテーマにした5回のセミナーシリーズの最終回です。事前登録や参加費は不要です。ご来場、お待ちしております。

連絡先: 人間総合科学研究科・若手イニシアティブ Damien Hall: damienhall@md.tsukuba.ac.jp

奥脇 暢: mokuwaki@md.tsukuba.ac.jp 永宗喜三郎: nagamune@biol.tsukuba.ac.jp